

令和8年2月食品ロス実態調査報告書
秋田市食品ロス実態調査報告書

令和8年3月30日発行

1 実施概要

■実施日時	令和8年2月19日(木)、20日(金)
■作業場所	秋田市総合環境センター
■作業時間	8:30~17:00(昼食休憩1時間、準備片付け含む)
■作業体制	秋田市職員のべ14名(地域別家庭ごみ組成調査) 受託業者職員のべ6名(食品ロス調査)
■調査資料	<ul style="list-style-type: none">・表記調査と同日に行う「地域別家庭ごみ組成調査」の調査資料である家庭ごみ100袋のうち、生ごみに分別された試料を「食品ロス実態調査」の調査試料とした。・調査資料である100袋の地区別の収集数は、中央、東部、西部、南部、北部、河辺・雄和の6地区の人口構成比により以下のとおりとした。 【2月19日】 中央(檜山11袋)、東部(東通10袋)、西部(新屋元町又は日吉町5袋)、南部(御所野8袋)、北部(下新城中野6袋、金足6袋)、河辺・雄和(河辺4袋) 【2月20日】 中央(川尻6袋、大町6袋)、東部(添川4袋、旭川4袋)、西部(新屋勝平町6袋)、南部(上北手8袋)、北部(飯島12袋)、河辺・雄和(雄和4袋)・調査資料の重量は、国の「家庭系食品ロスの発生状況の把握のためのごみ袋開封手順書」で示している「100世帯分程度のごみ袋又は生ごみで100kg~150kg程度」としていることを踏まえ、上記100袋に含まれていた生ごみ約100kgとした。

2 調査方法

調査方法は、国の「家庭系食品ロスの発生状況の把握のためのごみ袋開封手順書」に従って以下のとおり実施した。

(1) 試料採取

各地区の収集を担当する委託業者の運転員が、それぞれ当該地区のごみ集積所から、予備の袋も含め無作為に採取し、破袋しないよう作業所まで運搬、到着後、必要袋数を市職員が無作為に抽出した。

(2) 作業内容

- ・調査対象となる100袋に含まれる各地区ごとの食品廃棄物(生ごみ)の重量を計量した。
- ・食品廃棄物のうち、手付かず食品(100%残存・50%以上残存・50%未満)と食べ残し、調理くず、その他に分類し、重さを計量した。
- ・手付かず食品の賞味期限および消費期限を確認した。

3 調査結果

(1) 試料中の食品廃棄物の割合

調査対象とした試料について（図表1）、6地区の100袋の合計重量は、324.9kg、1袋あたりの平均重量は約3.2kgであった。

図表1 調査対象とした試料概要（秋田市）

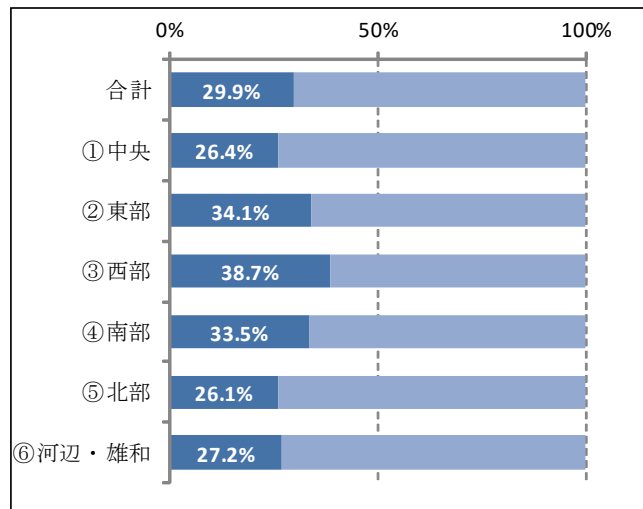
	袋数（個）	重量（kg）	容量（L）	袋あたり	
				重量（kg）	容量（L）
合計	100	324.9	3,585	3.2	35.9
①中央	23	77.5	850	3.4	37.0
②東部	18	45.0	595	2.5	33.1
③西部	11	28.2	355	2.6	32.3
④南部	16	62.1	630	3.9	39.4
⑤北部	24	78.5	840	3.3	35.0
⑥河辺・雄和	8	33.7	315	4.2	39.4

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの

試料中の食品廃棄物の割合について（図表2）、6地区の合計割合では、29.9%となっている。

地域別に見ると、③西部地域が最も高く38.7%、次いで②東部の34.1%、④南部の33.5%、⑥河辺・雄和の27.2%、①中央の26.4%、⑤北部の26.1%となっている。

図表2 試料中の食品廃棄物の割合（秋田市）



	サンプリング試料 A	うち、食品廃棄物 B	食品廃棄物割合 C (=B/A)	食品廃棄物以外 D (=1-C)
合計	324.87	97.14	29.9%	70.1%
①中央	77.45	20.42	26.4%	73.6%
②東部	44.95	15.32	34.1%	65.9%
③西部	28.20	10.91	38.7%	61.3%
④南部	62.05	20.82	33.5%	66.5%
⑤北部	78.54	20.53	26.1%	73.9%
⑥河辺・雄和	33.68	9.15	27.2%	72.8%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの

(2) 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合

食品廃棄物のうち、調理くずを除く、直接廃棄および食べ残しを食品ロスとする。

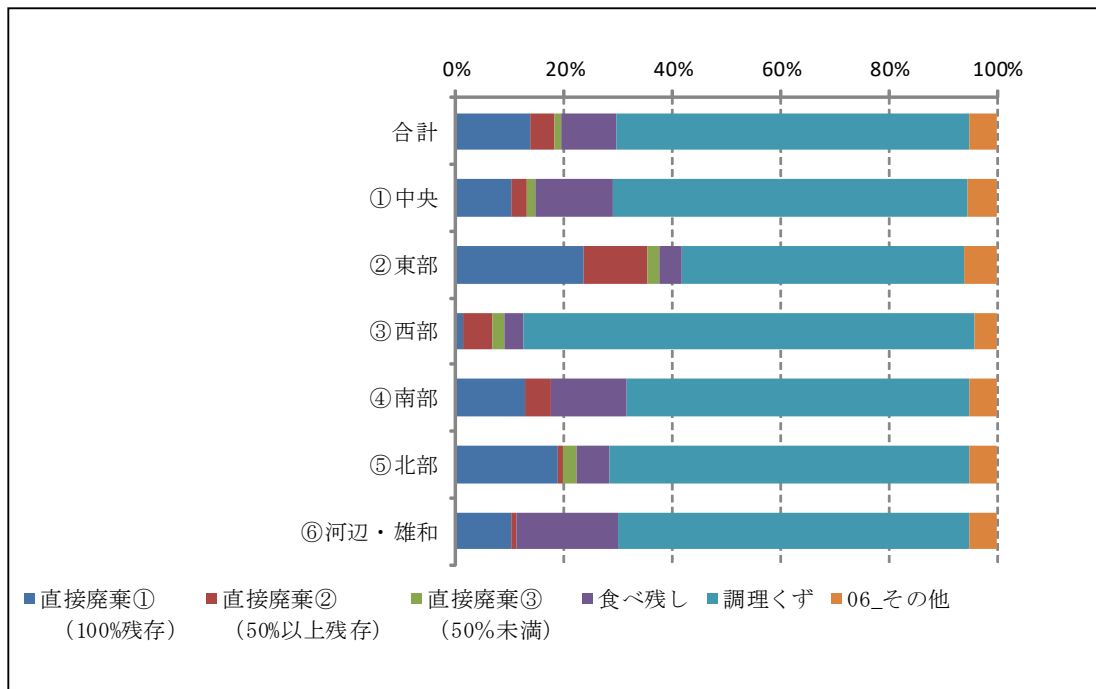
食品廃棄物のうち食品ロスの重量割合について（図表3）、6地区の合計割合では29.6%となっている。

地区別に見ると②東部が最も高く41.5%、次いで④南部の31.5%、⑥河辺・雄和の29.9%、①中央の28.9%、⑤北部の28.4%、③西部の12.5%となっている。

直接廃棄に着目すると、6地区の合計割合では、まったく手付かずの直接廃棄（100%残存）は、食品廃棄物のうち13.7%を占めており、②東部で23.6%と高く、次いで⑤北部が18.8%、④南部が12.8%、⑥河辺・雄和が10.3%、①中央が10.1%、③西部が1.4%となっている。

同様に、食べ残しに着目すると、6地区の合計割合では10.1%となっている。⑥河辺・雄和が18.9%と高く、次いで①中央が14.2%であり、③西部が最も低く3.5%となっている。

図表3 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合（秋田市）



	食品ロス割合	うち直接廃棄（手付かず）			うち食べ残し
		100%残存	50%以上残存	50%未満残存	
合計	29.6%	13.7%	4.3%	1.5%	10.1%
①中央	28.9%	10.1%	3.0%	1.5%	14.2%
②東部	41.5%	23.6%	11.7%	2.3%	3.9%
③西部	12.5%	1.4%	5.2%	2.3%	3.5%
④南部	31.5%	12.8%	4.6%	0.0%	14.1%
⑤北部	28.4%	18.8%	0.8%	2.7%	6.1%
⑥河辺・雄和	29.9%	10.3%	0.7%	0.0%	18.9%

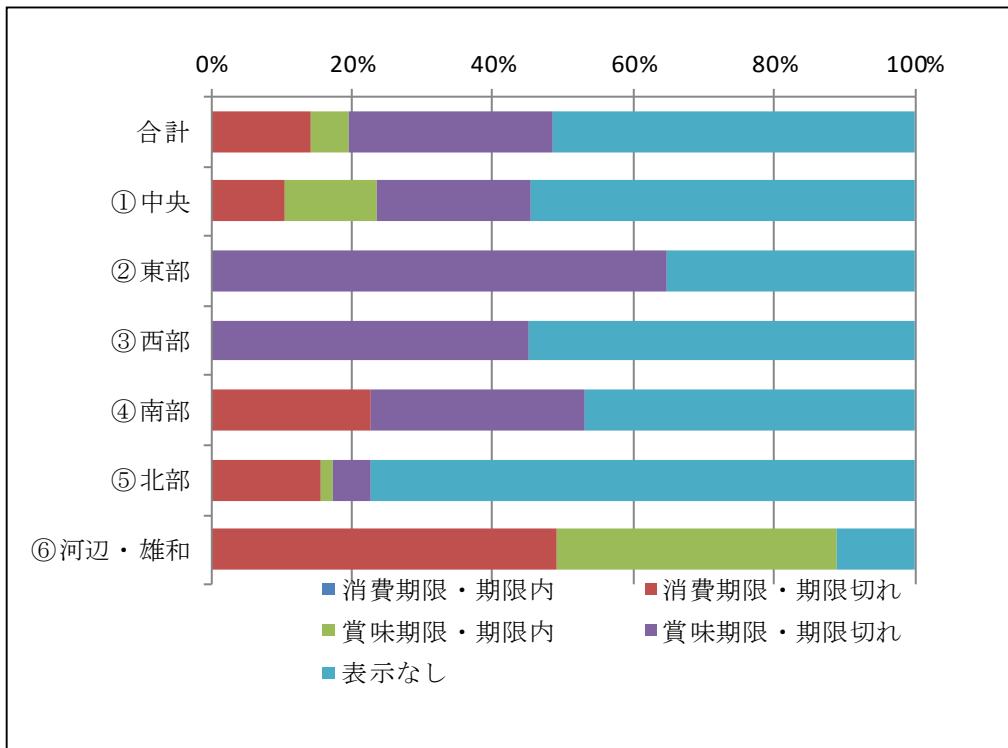
※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベースであり、端数の関係上、食品ロス割合の内訳（直接廃棄・食べ残し）の合計は、食ロス割合と合致しない場合がある。

(3) 直接廃棄されたものの消費・賞味期限について

直接廃棄（100%手付かず）の消費・賞味期限の記載状況・期限について（図表4）、6地区の合計割合では「表示なし」が最も多く51.3%であり、消費期限の表示があったものは14.2%（期限内はなしで、期限切れが14.2%）、賞味期限の表示があったものは34.5%（期限内が5.3%、期限切れが29.2%）となっている。

消費期限に着目すると、（100%手付かず）のうち「期限内」のものはなしで、「期限切れ」については、⑥河辺・雄和で最も高く49.2%であった。賞味期限に着目すると、「期限内」のものが直接廃棄（100%手付かず）のうち5.3%、地区別に見ると⑥河辺・雄和が39.7%ついで①中央地区が13.0%、⑤北部が1.6%で他の地区では期限内のものはなかった。

図表4 直接廃棄（100%手付かず）の消費・賞味期限について（秋田市）



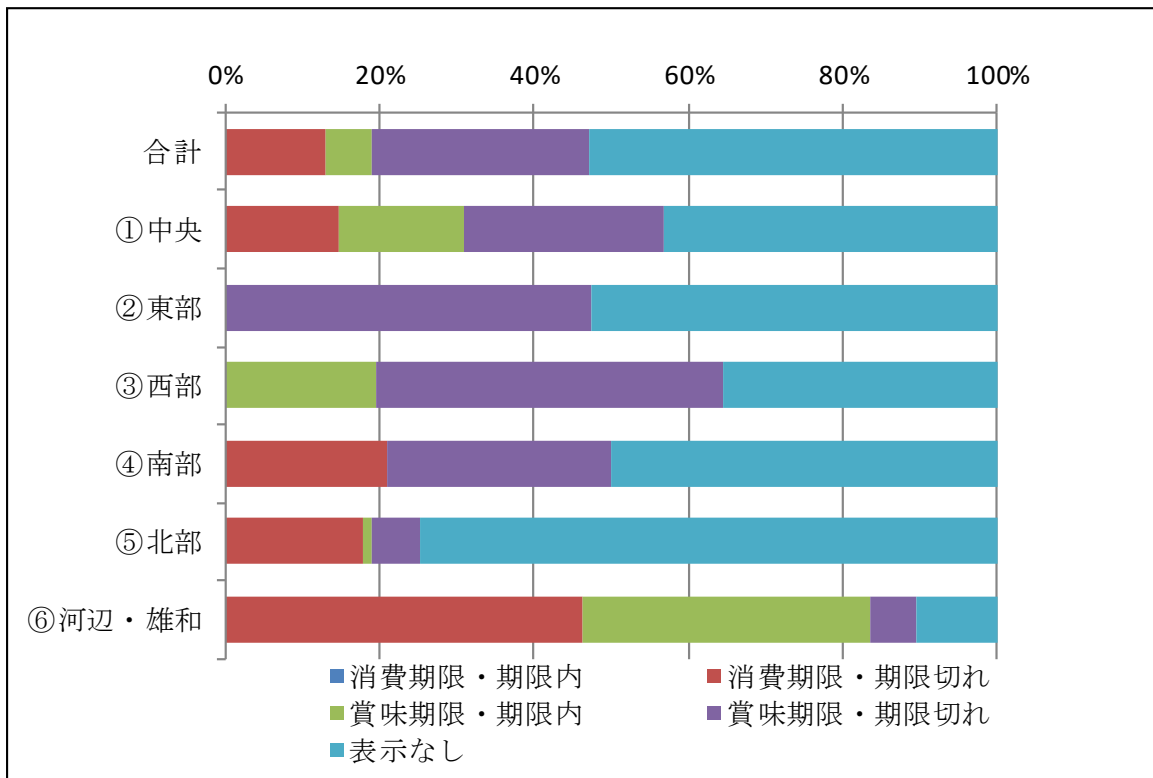
	消費期限		賞味期限		表示なし
	期限内	期限切れ	期限内	期限切れ	
合計	0.0%	14.2%	5.3%	29.2%	51.3%
①中央	0.0%	10.4%	13.0%	22.0%	54.6%
②東部	0.0%	0.0%	0.0%	64.7%	35.3%
③西部	0.0%	0.0%	0.0%	45.2%	54.8%
④南部	0.0%	22.7%	0.0%	30.3%	47.0%
⑤北部	0.0%	15.7%	1.6%	5.6%	77.2%
⑥河辺・雄和	0.0%	49.2%	39.7%	0.0%	11.1%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベースであり、端数の関係上、合計が100%にならない場合がある。

同様に、直接廃棄全体（100%手付かず、50%以上残存、50%未満残存）での消費・賞味期限の記載状況・期限について（図表5）、6地区の合計では「賞味期限（期限切れ）」が最も多く28.3%であり、消費期限の表示があったものは13.1%（期限内は0.0%、期限切れ13.1%）、賞味期限の表示があったものは34.1%（期限内5.8%、期限切れ28.3%）となっている。

賞味期限に着目すると、「期限内」のものが直接廃棄のうち5.8%となっている。地区別に見ると⑥河辺・雄和地区が最も高く37.3%となっている。

図表5 直接廃棄（合計）の消費・賞味期限について（秋田市）



	消費期限		賞味期限		表示なし
	期限内	期限切れ	期限内	期限切れ	
合計	0.0%	13.1%	5.8%	28.3%	52.8%
①中央	0.0%	14.9%	16.0%	25.9%	43.2%
②東部	0.0%	0.0%	0.0%	47.5%	52.5%
③西部	0.0%	0.0%	19.5%	45.1%	35.4%
④南部	0.0%	20.9%	0.0%	29.0%	50.1%
⑤北部	0.0%	17.8%	1.3%	6.2%	74.7%
⑥河辺・雄和	0.0%	46.3%	37.3%	6.0%	10.4%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベースであり、端数の関係上、合計が100%にならない場合がある。

(4) 一人1日当たりの食品ロス発生量

調査結果を踏まえて、令和6年度の実績を参考に一人1日当たりの食品ロス発生量を推計すると41.7g/人・日となり、その内訳を見ると直接廃棄（100%手付かず、50%以上残存、50%未満残存）が27.5g/人/日、食べ残しが14.2g/人・日と推計された。

図表6 一人1日当たりの食品ロス発生量（秋田市）

